

特別企画：日野自動車、三菱ふそうトラック・バスのサプライチェーン調査

日野・三菱、統合 2 社のサプライチェーンは延べ 1 万社

～ 派生する売上高は 1 兆 4,260 億円 ～

2023 年 5 月 30 日、日野自動車と三菱ふそうトラック・バス（以下本文、三菱ふそう TB）が経営統合に向けた基本合意書を締結したと発表した。それぞれの親会社であるトヨタ自動車やダイムラー・トラックも巻き込んだ、トラックメーカーの大型統合だ。トヨタとダイムラーが合同で持ち株会社を設立し、2 社をその完全子会社とするスキームで、2024 年中の統合を目指すとしている。こうした統合がサプライチェーン企業の動向にどう影響するか注目される。

帝国データバンクでは、保有する「商流圏～売上高依存度推計データ（※）」をもとに、日野自動車および三菱ふそう TB の各社に対し、部品などのモノ・サービスを提供する周辺産業（商流圏）の特徴や取引規模を 2022 年時点のデータを基準に推計した。

※サプライチェーン（SC）企業の定義について

帝国データバンクが特許を取得した「個別企業間の全取引シェアを推計するモデル（NIHACHI）」を用いて、任意の頂点企業に対して売上の 1%以上を依存している企業

商流圏～売上高依存度推計データについて

上記「個別企業間の全取引シェアを推計するモデル」を用いて、任意の頂点企業における商流上（サプライチェーン）の傘下企業や取引企業において、各社の売上高が頂点企業にどの程度依存しているかを算出（特許取得済）したデータ

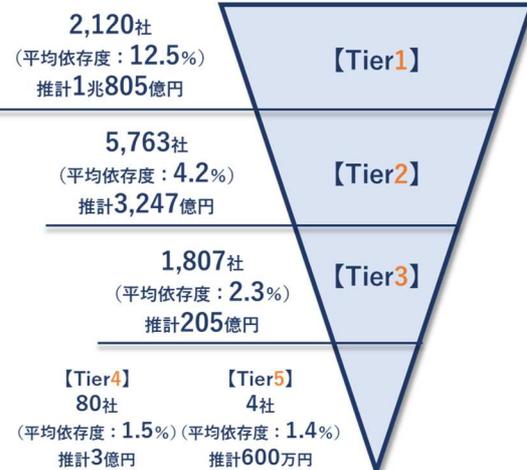
頂点企業の直接取引先（Tier1）だけではなく、頂点企業と直接取引がない Tier2（二次取引先）以降の間接取引でも売上高依存度を把握でき、頂点企業との取引額を推計できる点が特徴

調査結果要旨

■ 日野自動車 + ■ 三菱ふそうトラック・バス
 サプライチェーン + サプライチェーン

SC 9,774 社
 売上の1%以上を依存する企業数

¥ 1兆4,260 億円
 SCにもたらす年間売上高

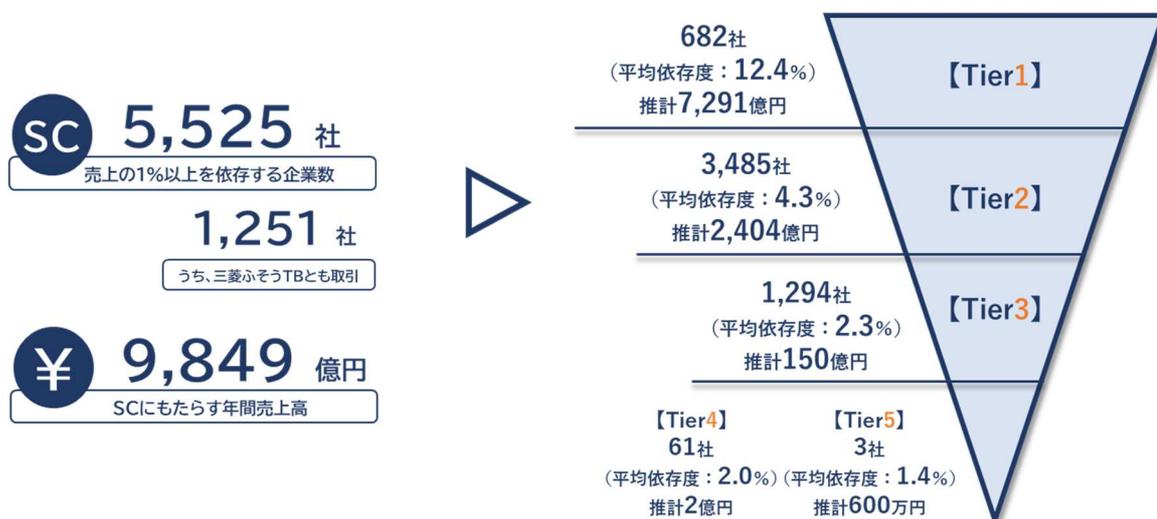


1. サプライチェーン企業の概要分析

【日野自動車】

日野自動車向け取引が売上の1%以上を占める「サプライチェーン企業」は、国内に5,525社。サプライチェーン企業にもたらす売上高（頂点企業である日野自動車に由来する売上依存額）合計は推計9,849億円になることが分かった。

階層別に見ると、一次取引先(Tier1)企業は682社あり、自社売上高への依存度の平均は12.4%、もたらす売上高は7,291億円と全体の74.0%を占める。一方で、社数が最も多いのは二次取引先(Tier2)で3,485社。平均依存度は4.3%と下がり、もたらす売上高は2,404億円とTier1の3分の1程度となっている。なお、三菱ふそうTBのサプライチェーンにも属する企業は1,251社。



サプライチェーン企業の属性を分析すると、地域別では「関東」(2,273社、構成比43.9%)が最も多く、次いで「中部」(1,426社)、「近畿」(578社)となっている。

売上規模別では、「1億～5億円未満」(1,965社、構成比38.3%)が最も多かった。

地域別	企業数	構成比
北海道	22	0.4%
東北	257	5.0%
関東	2,273	43.9%
北陸	230	4.4%
中部	1,426	27.6%
近畿	578	11.2%
中国	195	3.8%
四国	44	0.9%
九州	151	2.9%

※分析可能な5,176社が対象

売上規模別	企業数	構成比
1億円未満	1,008	19.7%
1億～5億円未満	1,965	38.3%
5億～10億円未満	677	13.2%
10億～50億円未満	1,022	19.9%
50億～100億円未満	193	3.8%
100億円以上	261	5.1%

※分析可能な5,126社が対象

【三菱ふそうトラック・バス】

三菱ふそう TB 向け取引が自社売上の 1%以上を占める「サプライチェーン企業」は、国内に 4,249 社。サプライチェーン企業にもたらず売上高合計は推計 4,411 億円になることが分かった。

階層別に見ると、一次取引先 (Tier1) 企業は 1,438 社あり、自社売上高への依存度の平均は 12.5%、もたらず売上高は 3,514 億円と全体の 79.7%を占める。二次取引先 (Tier2) は 2,278 社あり、平均依存度は 4.2%で、もたらず売上高は 842 億円。

日野自動車と比べ Tier1 の社数が多くなっている。



サプライチェーン企業の属性を分析すると、地域別では「関東」(1,771 社、構成比 44.3%) が最も多く、次いで「中部」(617 社)、「近畿」(413 社)となっている。日野自動車と比べると、「北海道」「中国」「九州」といった地方圏にサプライチェーン企業が多い。

売上規模別では、日野自動車と同様に「1 億～5 億円未満」(1,735 社、構成比 44.2%) が最も多かった。

地域別	企業数	構成比
北海道	166	4.1%
東北	212	5.3%
関東	1,771	44.3%
北陸	191	4.8%
中部	617	15.4%
近畿	413	10.3%
中国	360	9.0%
四国	72	1.8%
九州	199	5.0%

※分析可能な4,001社が対象

売上規模別	企業数	構成比
1億円未満	839	21.4%
1億～5億円未満	1,735	44.2%
5億～10億円未満	499	12.7%
10億～50億円未満	619	15.8%
50億～100億円未満	113	2.9%
100億円以上	117	3.0%

※分析可能な3,922社が対象

2. サプライチェーン企業の業況・収益性

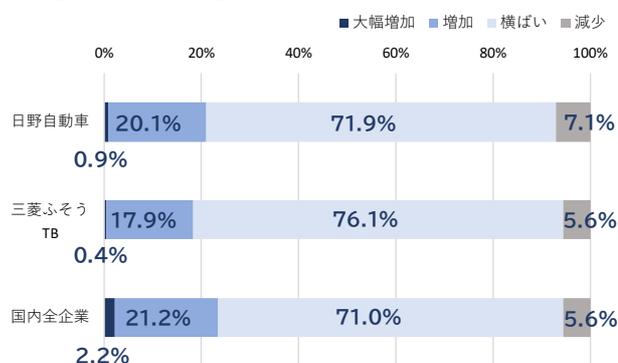
サプライチェーン企業の業況及び収益性を、直近の事業環境が確認できる 3,396 社を対象に分析した。

業況（売上）では、「大幅増加」傾向の企業の割合が日野自動車（構成比 0.9%）、三菱ふそう TB（同 0.4%）ともに 1% を割り込み、国内全企業（同 2.2%）と比べて低い。また、「減少」傾向の企業は、日野自動車のサプライチェーン企業で構成比 7.1% となり、三菱ふそう TB や国内全企業と比較してもやや高い。

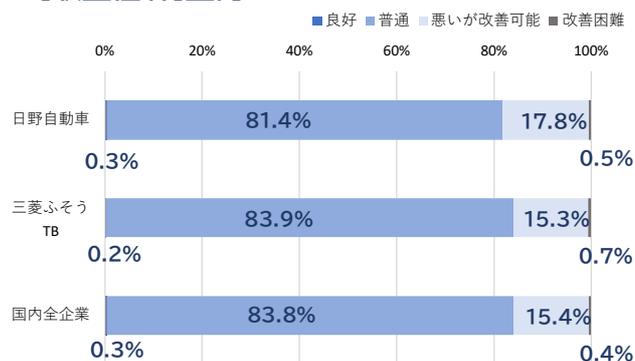
収益性（利益）では、両社ともに国内全企業と概ね傾向が同じだが、「悪いが改善可能」の割合が 17.8% と若干高い。

エンジン認証問題のあった日野自動車のサプライチェーン企業は業況、収益性ともに若干苦戦を強いられていることが分かる。

【業況(売上)】



【収益性(利益)】

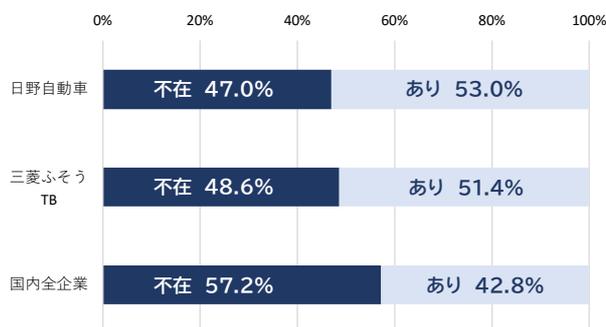


3. サプライチェーン企業の後継者決定状況

サプライチェーン企業の後継者の状況について同じく 3,396 社を対象に分析した。

日野自動車、三菱ふそう TB とともに後継者「あり」が「不在」を上回っており、国内全企業の後継者決定率 42.8% を総じて 10 ポイント近く上回っている。それでも、約半数は後継者が決まっておらず、事業継続には一定の憂慮もある。

【後継者の決定状況】



株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 箕輪 陽介

03-5919-9341 (直通) yousuke.minowa@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。